

口唇裂(初回)の患者さん (入院診療計画書)

患者ID:

性別:

生年月日:

病棟:

病室:

患者氏名:

病名:

症状:

経過	入院日 (/)		入院2日目以降 ICU退室まで	
			手術前	手術後
患者目標	入院・手術の準備をします 転倒・転落しません		手術前の準備をします	手術した部位の安静を保ちます
治療・処置	外来で ・麻酔科診察があります 病棟で ・唇のテープをしている場合は優しく剥がします		()時 坐薬を挿入します ()時 お薬を飲みます	ICUに入室し全身管理を行います
活動	病棟内、自由です		坐薬を挿入、またはお薬を飲んだ後は、ふらつくことがあり危ないのでベッド上で過ごして下さい	・ベット上安静です ・点滴、モニターなどが抜けないように注意し、場合によっては抑制をすることがあります
食事	通常通り食べられます		・ 午前の手術の場合、朝食はありません ・ 午後の手術の場合、朝食は軽食になります ・ ()時のお茶()mlが手術前最後です ・ ミルク又は母乳を飲んでいる方は ミルク又は母乳を()時まで()ml 水またはお茶が()時まで()mlが最後です	
清潔	シャワーに入れます		手術の日なのでシャワー、体拭きはありません 手術翌日は体拭きを行います	
説明・指導	☐ 病棟内の説明をします ☐ 手術の時間をお知らせします ☐ 手術同意書・麻酔同意書をいただきます ☐ 身体抑制の同意書をいただきます ☐ 褥瘡対策に関する計画の必要性について評価します(有・無) ☐ 特別な栄養管理の必要性について評価します(有・無)		☐ 午前、手術室に入室の場合は午前8時までに病室にお越しください。 ☐ 午後、手術室に入室の場合は午前11時までに病室にお越しください。	
メモ				

口唇裂(初回)の患者さん (入院診療計画書)

患者ID:

性別: 生年月日: 病棟: 病室:

患者氏名: 病名: 症状:

経過	入院3～4日目	入院5～8日目	退院日
	術後2～3日目(一般病棟)	術後4～7日目(一般病棟)	術後7日目
患者目標	手術した部位の安静を保ちます	手術した部位の安静を保ちます ミルクを飲みます	ミルクが飲めて手術した部位に問題がなければ退院します
治療・処置	・水分補給のための点滴を行います ・唇と手術した傷に軟膏を塗ります ・モニターをつけて呼吸の状態を観察します 	・傷の一部を抜糸してテーピングをします ・唇と手術した傷に軟膏を塗ります ・モニターをつけて呼吸の状態を観察します ・術後4日目に栄養の管を抜きます。 ・栄養の管を抜いた後、飲んだり食べたりできれば点滴も抜きます。	退院前に診察があります 傷の抜糸をして鼻にレティナという装具をいれます
活動	・おしゃぶりなどの硬いものを口の中に入れること、指しゃぶりは避けてください ・栄養の管や点滴が抜けないように注意します ・ベッドサイドで抱っこができます 		・退院後も、手術後3週間までは、おしゃぶりなどの硬いものを口の中に入れること、指しゃぶりは避けてください
食事	・栄養の管から、白湯・ミルク注入をします ・吐き気や嘔吐がなければ、少しずつ量を増やします 	・ミルクは、手術の傷に負担がかからないようにするため、哺乳瓶の乳首ではなく、シリンジを使って飲みます 	・入院中と同じようにシリンジを使ってミルクを飲んでください
清潔	体拭きを行います	手術した部位が濡れないようにシャワーに入ります	・退院後も、手術後3週間までは、シャワー浴のみとしてください。
説明・指導	☐ 栄養の管が抜けないう、腕や体の動きを制限するための固定具を使用します ☐ 指しゃぶりをしないよう、腕の動きを制限するための固定具を使用します	☐ 院内の売店で、シリンジとマイクロポアテープ茶色(細)を購入してください ☐ シリンジでミルクを飲ませる方法をご家族に説明し、練習していただきます ☐ 指しゃぶりをしないよう、腕の動きを制限するための固定具を使用します	☐ 次回外来日をお知らせします ☐ 傷のテーピングのしかたをご家族に説明します 
主担当医氏名 印 主担当医以外の担当者: 			
年月日 上記の説明を受けました。 患者・家族サイン: (続柄)			